



40センチ級のアジも顔を見せた



二宮大磯沖のアジは今後も期待度◎



開始早々から25センチ級のおいしいアジが顔を見せた



30センチオーバーのアジも登場



釣れるアジは脂が乗り抜群の食味



良型のサバも交じる



▲掛かったアジが大きい場合はタモを使って取り込もう



▼一荷で釣れることもしばしば



▲ロッドキーパーに竿を掛けたままコマセを振り出せば、非力な女性も楽しく釣りが楽しめる

仲間と仕立船で沖釣りホリデー!

ツリトモさん

釣友

いらっしゃ〜い!

Charter boat fishing to enjoy with friends.

vol.8 GOHEIMARU

●撮影・文/古河好夫



第8回のツリトモ

●取材でお邪魔させていただいたのは神奈川県茅ヶ崎市の伊藤昌弘さんが幹事を務めるグループ。釣り物はアジ五目&アマダイのリレーです。

相模湾大磯港 五平丸の アジ五目& アマダイリレー

多彩な釣果が魅力
二宮〜大磯沖の
アジ五目&
アマダイリレー

今回の「仲間と仕立船で沖釣りホリデー! ツリトモさんいらっしゃ〜い」は神奈川県茅ヶ崎市の伊藤昌弘さんが幹事を務めるグループがアジ五目&アマダイのリレーで仕立てた相模湾大磯港の五平丸にお邪魔させていただきました。

釣行日は10月28日。当日は11名が乗船し6時に出船。約20分ほど走った二宮〜大磯沖の水深100メートル前後でまずはアジ五目から開始する。

コマセはアミで付けエサはアカタン。底から5メートルの指示ダナでアジを誘う。早々に25センチ級のアジが上がると25

のサバも交じり帰宅後の料理が楽しみな展開となった。
「今日はたまたまにピッタリなサイズのアジが釣れてよかったですよ」とは幹事の伊藤さん。その後もアジ&サバは釣れ続きお土産には十分な数を確保した。中盤からは釣り場を少し移動して水深80〜100メートルでアマダイ狙いとなる。エサはオキアミが配られるが、仕掛けは自由アジの仕掛けを流用してもいいし、アマダイ仕掛けに替えてもいい。コマセも入れても入れなくてもいいそうだ。
早々に上がったのは25センチ級のおニカサゴ。続いては珍しいプリモドキが取り込まれた。なかなか本命の顔を見ることはできなかったが、右舷の間で釣っていた神奈川県横浜市の小口慎司さんが30センチ級のアマダイをキャッチ。
「今日はアジ、サバ、ウルメイワシ、アマダイと釣れて楽しいです」と小口さん。その後はソコイトヨリとアジの一荷、良型のイシモチも上がったりにして船上はなかなかの盛り上がり。ここで幹事の伊藤さんに五平丸の魅力についてうかがってみた。「先代が舵を握っているころから利用していて、かれこれ30年以上前からの付き合いですね。

アジのアレは25〜30センチ前後



▲コマセカゴはFLサイズ、オモリは120号を使用。付けエサはアジ五目がアカタン、アマダイ用はオキアミが配られる



▲コマセはアミを使用

30センチ級のアジが次つぎに取り込まれるようになり、皆さんはなんとも楽しげ。40センチ級



▲当日の釣り場は二宮〜大磯沖の水深100メートル前後

五平丸は船長が優しく自由に釣らせてくれるところがいいですね。とにかく二宮成利船長には毎回アジをよく釣らせてもらっています。今日も晩のおかずには十分な量をみんなに釣らせてくれたのでよかったです。これからも月イチペースで利用したいと思っています。
伊藤さんはアジ、サバを20尾以上釣り上げアマダイもキャッチ。終始楽しい表情で皆さんの釣りを見守っていた。終盤には藤沢市の乾太一朗さんと鎌倉市の菅原久美子さんもアマダイを釣り上げ皆さん大満足で沖揚りの時間を迎えた。
アジ五目&アマダイのリレーは実に楽しく11月中旬以降もおすすめのメニュー。レンタルタ

ツリジョーさん いっしょに釣ろう!

from Captain

11月中旬以降はアジやマダイ五目、アマダイ、クロムツ、泳がせ釣りで狙うワラサ、ブリなどがおすすめです。水温が高く遅れ気味なのでこれから面白くなるでしょう。お仲間や家族を誘ってぜひお越しください。

料金プラン

■平日は5名、土日祝日は8名より受付。1人8500円～(釣り物によって料金の変動あり)。最大で16名まで乗船可能で10名までが釣りやすい。下船後に船宿にて精算。

利用ガイド

【予約方法】
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保

【出船時間】
6～13時半(季節によって変動あり)。沖揚がりまで最大7時間

【エサ、氷、仕掛けなど】
エサ付(キハダやカツオなどは別料金)、氷、仕掛けは別料金

【レンタルタックル】
手巻きのセットは500円。電動タックルのセット(テンピン付) 1500円

【集合同所】
大磯港に集合。車は大磯漁協そばの指定された場所に駐車する

【船宿アクセス】
車の場合は、小田原厚木道路・大磯出口下車。国府新宿の交差点を左折、国道1号を進み、照ヶ崎海岸入口の交差点を右折し、一つ目の交差点を左折



▲手入りの行き届いた電動のレンタルタックルが1500円で借りられる



▲二宮 成利船長



▲11月はアマイダイ釣りが面白い



船は8.5トン。10名までが釣りやすい



▲大磯港の入り口にはゲートがあり、入るときは右側にある緑色のボタンを押すとゲートが上がって入る。一度入るとカードがないと出られないので注意



▲帰りは船長がこのカードを手渡ししてくれるのでゲートのカード機に入るとゲートが上がる



▲車は船長に指定された所に停める

釣り物	約期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジ サバ五目													
マダイ、イナダ五目													
シロギス													
クロムツ、シロムツ													
ヒラメ、ハタ泳がせ													
キハダ													
カツオ													
アマダイ													

相模湾大磯港 五平丸

GOHEIMARU
*Oiso port, Sagami bay
☎0463-61-2635 (詳細は巻末の情報欄参照)

現役の漁師でもある優しい船長が相模湾の沖釣りを満喫させてくれる。五平丸が仕立専門の遊漁船を始めたのは、先代が漁の合間にお客さんを乗せた40年以上前のこと。現在は19歳のころから同船に乗り、釣り船の予約がないときはヒラメの刺し網漁などに精を出す2代目の二宮成利船長(60歳)が舵を握る。釣り物に関しては遠慮なくなんでも相談してほしいとのことなので、電話してみるといいだろう。



オオカサエヤが釣った



二宮大磯沖のアマイダイは今後も期待大分



幹事の伊藤さんもアマイダイをキャッチ



▲沖揚がり直前に釣ったアマイダイをキャッチした鎌倉市の富原さん



藤沢市の乾さんもアマイダイをゲット



▲イシモチも交じった



アマイダイの写真を手にした様子

ツクルの用意もあるので家族や仲間を誘ってトライしてみてもいいだろう。

11月中旬以降はマダイ五目やワラサ、ブリもおすすめ

さて11月中旬以降の五平丸のおすすめだが、まずは今回紹介したアジ五目&アマダイのリレー。いずれも釣り場は二宮大磯沖の水深100メートル前後で、アジは25〜30センチ級主体に40センチオーバーも顔を見せ、日により40〜50センチ級の大サバも交じる。これからの時期はアジ、サバともに脂がしっかりと乗って抜群の食味を味わえる。中盤から狙うアマダイは25〜30センチ級主体に40センチオーバーが上がることも珍しくない。ソコイトヨリなども交じり釣り人を喜ばせる。もちろんアジ五目、アマダイともに専門に狙うことも可能だ。

マダイ五目も楽しい時期で大磯沖の水深50〜100メートルが釣り場。釣れるマダイは1キロ前後を中心にして日によっては2〜3キロ級も顔を見せ、アジやサバ、マハタなども交じってクーラーの中にはぎやかになるという。年内一杯は泳がせ釣りで狙う

泳がせ釣りのヒラメやハタも人気を集め、小アジやイワシを釣って泳がせる。釣り場は大磯沖の水深30〜70メートル。上がるヒラメ、ハタは1〜2キロクラスが中心で、ハタはマハタやオオモンハタ、アカハタなども釣れるそうだ。

そのほかにはクロムツ&シロムツも受け付けていて二宮茅ヶ崎沖の水深300メートルまでを探る。メダイやクロシビカマス、ユメカサゴなども交じるそうので、中深海釣りファンにおすすめのこと。

ワラサ、ブリも狙い目。釣り場は二宮大磯沖の水深100メートル前後でアジやカマス釣ってエサにする。

現役漁師ならではの経験と勘を生かして釣り人を楽しませる二宮成利船長は、実に明るく優しい人柄。一度乗船したらきつとりリピートしたくなるはずだ。



▲釣りたてのウルメイワシの刺身は抜群に美味

